

一般社団法人ジャパン・コスメティックセンター

2018 年度定時社員総会参考書類

1 報告事項

- ・ 報告事項 1 2017 年度事業報告について
- ・ 報告事項 2 2018 年度事業計画及び収支予算について

2 決議事項

- ・ 議案第 1 号 2017 年度決算の承認について
- ・ 議案第 2 号 定款の一部変更について
- ・ 議案第 3 号 任期満了に伴う理事の選任について

報告事項 1

2017 年度事業報告について

定款第 39 条の規定により 2017 年度の事業報告について事業報告書を作成し、監事の監査を受け、理事会の承認を得たので、同条第 2 項の規定により報告する。

- 1 事業報告書 別紙のとおり
- 2 監査報告書 別紙のとおり

2018 年 6 月 7 日提出

一般社団法人ジャパン・コスメティックセンター
代表理事会長 アルバン・ロバート・ミュラー

2017年度事業報告書

自 2017年4月 1日

至 2018年3月31日

1 組織活動

(1) 定時総会

2017年6月5日(月)に開催し、「2016年度事業報告」「2017年度事業計画及び収支予算」を報告し、続いて「2016年度決算の承認」、「理事の辞任に伴う後任者の選任」及び「任期満了に伴う監事の選任」をそれぞれ審議可決した。

なお、総会後は2件の講演(株)三越伊勢丹 百貨店事業本部 三越恵比寿店 店長 小宮仁奈子氏「ビューティアポセカリーから見続けた日本のナチュラルコスメ市場」、(株)矢野経済研究所 FSR ユニット ライフスタイル&ビューティグループ 主任研究員 浅井潤司氏「アジア新興国市場の可能性～市場開拓のためのキーワード～」)、そして会員企業交流プレゼン大会を実施した。

(2) 理事会

理事会設置法人として、次のとおり理事会を開催した。

回	開催日	議案
1	4月1日(土)	①地域商社の設立について
2	4月7日(金)	①地域商社の取締役報酬上限額について ②地域商社の監査役報酬額について
3	5月17日(水)	①2016年度事業報告及び決算の承認について ②2017年度定時社員総会の招集の決定について ③会計規程の改正について ④株式会社 Karatsu Style の役員変更について
4	9月26日(火)	(報告事項のみ)
5	12月22日(金)	①株式会社 Karatsu Style の役員選任について
6	3月22日(木)	①2018年度事業計画について

		②2018年度収支予算について ③規則規定の改正について ④株式会社 Karatsu Style の役員選任について ⑤株式会社 Karatsu Style の役員報酬上限額について
--	--	--

2 新市場開拓事業

(1) 海外クラスター組織提携事業

国際取引の基盤となる海外クラスターとの提携関係の拡大・深化を推進するため、合同商談会の開催や展示会への出展を行った。

<主な活動・動き>

- ・ 5月23日～25日 China Beauty EXPO@上海参加、Beauty Cluster Barcelona と Taiwan Beauty Valley の会員企業のブースを訪問し情報交換。アジアを中心とするコスメ関連企業3,000社が出展。
- ・ 5月30日～31日 フランス CV 来日商談会@CITE JAPAN2017
- ・ 9月22日 台湾 TBV@台南 台湾対日投資ビジネスセミナー開催
(参加者100名)
- ・ 10月31日～11月2日 COSMEX2017@タイ 出展 (出展企業60社)

(2) ビジネスマッチング事業

提携海外団体との連携を生かし、会員企業の展示会出展支援や商談機会を設けることで海外ビジネスを促進した。

<主な活動・動き>

- ・ 5月31日～6月2日 CITE JAPAN 出展
- ・ 7月26日 タイ王国 セミナー&商談会@唐津
(セミナー参加者20名、タイバイヤー2社、参加企業7社)
- ・ 8月7日 台湾 TBV 第2回 B to B 商談会@唐津
(台湾企業6社、参加会員企業12社)
- ・ 9月20日 シンガポール セミナー&商談会@唐津

(セミナー参加者 20 名、シンガポール側 3 社、会員企業 10 社)

- ・ 10 月 18 日～19 日 COSMETIC360@パリ 出展 (RIT 事業)
(出展企業 200 社、来場者数 4,440 名、JCC 会員企業 4 社出展 (商談計 61 社))
- ・ 1 月 23 日 スペイン BCB 来日商談会&レセプション@千葉 (参加者 65 名)
- ・ 3 月 15 日～18 日 Cosmoprof Bologna 出展者支援

(3) 海外輸出促進事業

会員企業の海外市場への輸出支援及び販路開拓の促進を実施した。

<主な活動・動き>

【アジア輸出】

- ・ タイ向け：3 社商談、1 社成約
グレイスファーム(株) (白いキクラゲ)、(株)シェモア (美容雑貨)、カネダ(株) (グルコマンナン)
- ・ シンガポール向け：5 社、(株)Karatsu Style が仲介
(株)Karatsu Style (SHANTI SWITCHEL)、グレイスファーム(株) (白美の雫)、
YOKO・JAPAN(株) (GO FOR MEN)、(株)緑門 (茶実油、ジェルクリーム)、
Luna (洗顔石鹸)

【欧州輸出】

- ・ 輸出：1 社 (株)コスメディアラボラトリーズ)
- ・ レジストレーション：6 社 (完了 2 社、進行中 4 社)
- ・ JETRO の支援 (RIT 事業) 3 年目。累計で商談件数 245 件、成約 10 件+進行中 (見込み) 10 件=合計 20 件

(4) マッチングサイト事業

海外とのビジネスマッチングを加速させるためのインフラとなるマッチングサイトを 11 月 20 日から運用開始。会員間で事業・商品情報を相互検索できる仕組みを導入した。今後、コンテンツの充実、アクセス率アップの向上を図る。

(5) 海外企業コラボモデル事業

海外企業と JCC 会員企業がコラボした事業事例創出と方法論の抽出・確立のため、タイプ毎のモデル事業を実施するもの。

<主な活動・動き>

- ・AMI ASIA (AMI 社マツモト交商合弁事業)
- ・(株)Karatsu Style (韓国向け会員商品 (ティーオイル、白美の雫)、加唐島椿オイル輸出支援)

3 産業創出事業

(1) サプライチェーン構築事業

国際的コスメティッククラスターの形成を目指し、本地域のサプライチェーンの構築を図るため、地域商社活動の支援及び地産原料加工活動への支援を実施した。

<主な活動・動き>

- ・株式会社 Karatsu Style の事業を軌道に乗せるべく、継続的な支援を実施した。
- ・3月22日 コスメ原料加工・製品製造施設の建屋が完成、4～9月設備導入、10～12月操業に向けた準備を行い、1月稼働予定。

(2) 商品開発・販売促進事業

地域資源活用事業の事例創出と方法論の抽出・確立のため、会員による地域資源を活用した新商品開発を支援した。

<主な活動・動き>

- ・5月10日 商品開発スタートアップ助成公募開始 (～6月16日)
- ・6月28日 商品開発スタートアップ助成事業2件採択
本年度採択の2社については、引き続き支援中
- ・昨年度10社採択のうち5社が製品化した。

(3) セッション／セミナー事業

会員のビジネス支援のためにセッション (会員勉強会) やセミナー (公開講演会) を行った。

<主な活動・動き>

- ・6月5日 総会後の会員企業のプレゼン交流会 (総会后)
- ・7月21日、24日 JCC 会員向けセッションを実施

- ・12月20日 フクオカベンチャーマーケット@天神に参加、JCC 枠として会員企業のプレゼンを実施
- ・3月23日、24日 移住促進セミナー@東京都千代田区（主催：ふるさと回帰支援センター、佐賀県移住支援室）で、唐津コスメ構想の紹介、コスメ起業家トークなど行った。

(4) 企業進出支援事業

美容健康関連産業の集積を図るため、関係行政機関と連携した企業誘致活動や現地視察対応、起業支援を実施した。

<主な活動・動き>

- ・6月13日 岩瀬コスファ(株)、原料物流倉庫（唐津市内）の竣工
- ・3月22日 唐津市原料加工・製品製造施設の竣工

(5) 産学連携促進事業

産学連携を専任で担当するコーディネーター1名を昨年に引き続き配置し、会員大学のシーズ紹介と研究者との交流機会提供のため、2回の産学交流セミナーを開催した。

なお、新たに佐賀女子短期大学、東京理科大学総合研究院界面科学研究部門、福岡工業大学、九州産業大学が新たに入会した。

- ・6月3日 第4回産学交流セミナー@東京（参加者120名）
- ・9月22日 佐賀女子短期大学が支援会員として入会
- ・10月17日 東京理科大学総合研究院界面科学研究部門が支援会員として入会
- ・12月21日 福岡工業大学が支援会員として入会
- ・3月1日 第5回産学交流セミナー@唐津（参加者74名）
- ・3月12日 九州産業大学が支援会員として入会

(6) 人材育成事業

化粧品を支える科学技術に関して総合的かつ多面的に学ぶ「化粧品科学へのいざない」セミナーを開催。10月5日から2月8日までの木曜日、全15回にわたり、最新科学、技術、文化、歴史、マーケティング等について分かりやすく解説を行った。

(7) 企業活動強化及び創業支援事業（佐賀県委託）

佐賀県からの業務委託により、原料・製品開発支援、地産素材のブランディング支援などを行い、入り口から出口までトータル的な支援を行う体制を構築した。

- ・コーディネーター2名による各種相談及びサポートを実施
- ・創業セミナー開催 1月13日～27日 全3回シリーズ
- ・化粧品づくりセミナー開催 1月24日～3月7日 全4回シリーズ

4 地域ブランド事業

(1) 原料ビジネス開発事業

コスメ原料開発室を活用し、地産素材からのコスメ原料素材を発掘・開発を実施した。

<主な活動・動き>

- ・コスメ原料開発室における素材収集とサンプル製造
(101品目・部位、360試料：3月末日現在)
- ・関係大学及び佐賀県工業技術センターと連携した機能性評価の実施
(41品目・部位、71試料、各2～8項目：3月末日現在)
- ・圃場整備 唐津（浜玉町平原）の耕作放棄地活用、ホーリーバジル等を栽培し蒸留水にして原料として供給
- ・種苗補助

(2) 地域モデル事業

地域資源活用事業の事例創出と方法論の抽出・確立のため、佐賀県産素材を原料として使用した会員による新商品開発を支援した。

- ・6月18日 アルビオン×佐賀大学 (株)アルビオン社イグニス サワーサニー アイテム全国発売（さがんルビーエキス配合商品）
- ・9月23日 (株)クレコス社 QUON 全国発売（ホーリーバジル、ミカン花他）
- ・2月26日 久光製薬(株) Lifecella さが美人シリーズ佐賀県内限定発売（茶葉、酒粕）

(3) 情報発信事業

当会活動の円滑化及び参画者・支援者拡大を図るため、ホームページやプレスリリースなどによる当会活動の周知の他、メディアタイアップ、展示会出展、イベント開催、パンフレット制作、ノベルティグッズ制作、広告掲載等を行った。

<主な活動・動き>

- ・5月6日～7日 Hana Marche2017 開催@唐津 (参加者 830名)
- ・5月31日～6月2日 CITE JAPANに出展し、地産素材をPhyto Saganとして紹介 (来場者約700名)
- ・9月12日 第3回ジャパンメイド・ビューティアワードにおいて、佐賀県産素材を使った会員企業3商品が受賞
- ・10月30日 佐賀さいこう応援団@東京 ブース参加 (参加者約500名)
- ・1月31日～2月2日 健康産業商談展「健康博覧会2018」@東京 出展 (参加者36,912名)
- ・2月7日 佐賀県主催PRレセプション@台湾 ブース出展 (参加者約200名)
- ・3月23日～24日 コスメ企業・移住セミナー@東京 参加 (唐津PR) (参加者約18名)
- ・ホームページの運営 (21,477セッション、15,443ユーザー、76,708PV/年)
- ・メールマガジンの発行 (25回、配信アドレス数750件)
- ・プレスリリースの発出 (地元向け11回、DreamNews5回、PR Times3回)
- ・広告掲載 (週刊粧業、動物実験代替法学会、水科学と水資源に関する国際会議と展覧会)

(4) 地産原料開発事業 (唐津市委託)

唐津市より「地産素材活用原料開発業務」を受託し、椿を始めとする地産の農林水産物を使用した化粧品及び健康食品の原料及び製品を開発するために、原料化・製品化に向けた素材の調査、分析評価、試作及び産地化に必要な取り組みを行うものであり、専門人材を新たに1名配置し、椿の原料化・製品化及び産地化に向けた取り組みと、化粧品、健康食品の原料となる素材の発掘、開発、ブランディングを行い製品化に向けた活動を実施した。また、唐津産の素材を活用した原料及び製品開発に必要なアドバイザーを1名配置し、農林水産物を活用し、有

力な原料となる素材を発掘、調査、研究し、専門的知見から、製品化に向けた取り組みを実施した。

<主な活動・動き>

- ・ 下草刈り枝打ちで実の収穫量を1 tの増、搾油量を180kgの増を見込んだが、実績としては、収穫量が1 tの減という結果となった。
- ・ 搾油作業の中で、350kgの増量となる取り組みを行い、今後も積極的に収量増を図っていく。
- ・ 椿実 収穫量 1.7 t (前年比△1.0 t) 裏年にあたり前年比減
- ・ 椿オイル 収穫量 350kg (前年比△250kg) 残渣を再絞りして搾油量を確保

5 海外コスメ企業投資促進事業

(1) 海外コスメ企業投資促進事業 (唐津市委託)

唐津市より「海外コスメ企業誘致活動業務」を受託し、海外の化粧品関連企業の唐津市への進出へ向けた誘致活動を実施した。本業務は地方創生事業として2015年度に唐津市が実施した業務を継承するもので、唐津市及び海外へ専門人材を配置し、海外コスメ企業誘致のための調査、プロモーション、唐津市への進出・投資を希望または前向きに検討する企業1社以上について、誘致交渉を目的に招聘するものである。

当会では、本業務を遂行するために産業集積チーム内に外国語対応人材1名を新たに配置し、欧州担当1名、アジア担当1名の2名体制とした。また、昨年引き続き欧州側に「欧州デスク」として2名の現地エージェントを配置。必要に応じ新市場開拓(国際取引)担当コーディネーターの支援も受け事業を推進した。

<主な活動・動き>

【欧州】

以前からのリスト7社：フォロー継続中 (有力企業：欧州検査会社、化粧品コンサルティング会社)

新規アプローチ7社：継続可能性1社1団体

【アジア】

J E T R O、日台交流協会、T A I T R Aと連携

- ・台湾対日投資セミナーを実施、1社応募招聘継続中
- ・個別紹介により招致活動2社継続中

6 専門人材配置

(1) 専門人材配置

当会活動を効果的・効率的に進めるため、専門人材を配置して業務を遂行した。

2017年度は、プロジェクトマネージャー1名を新たに配置した。

<専門人材体制>

- ・プロジェクトマネージャー1名
- ・チーフコーディネーター2名（国際担当1名、地域資源担当1名）
- ・コーディネーター2名（国際担当1名、産学連携担当1名）
- ・コスメ原料開発室オペレーター1名
- ・スーパーバイザー3名

7 会員の状況

(1) 2016年度期末

正会員 173名

支援会員 19名

計 192名

(2) 2017年度3月31日時点

正会員 189名（継続 151名、新規入会 38名）

支援会員 24名（継続 19名、新規入会 5名）

計 213名（継続 170名、新規入会 43名）

監 査 報 告 書

2018年5月17日

一般社団法人ジャパン・コスメティックセンター

代表理事 アルバン・ロバート・ミュラー 殿

監 事 成 富 茂 子

監 事 江 口 利 幸

私たち監事は、当会の2017年4月1日から2018年3月31日までの2017年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法によって、当該年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告は、法令及び定款に従い、当会の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類の監査結果

計算書類は、当会の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上

報告事項 2

2018 年度事業計画及び収支予算について

定款第 38 条の規定により 2018 年度の事業計画及び収支予算を作成し、理事会の承認を得たので、報告する。

- 1 事業計画書 別紙のとおり
- 2 収支予算書 別紙のとおり

2018 年 6 月 7 日提出

一般社団法人ジャパン・コスメティックセンター
代表理事会長 アルバン・ロバート・ミュラー

2018 年度 事業計画

【総括表】

事業分野	事業名
1 新市場開拓事業	(1) アジア市場マッチング事業
	(2) EU 市場マッチング事業
	(3) 海外企業誘致事業 (唐津市委託)
2 産業創出事業	(1) 技術・産学連携促進事業
	(2) 研究者及びシーズ情報 DB 作成事業
	(3) 製品開発支援事業
	(4) 販路開拓・プロモーション支援事業
	(5) クラスタ交流会・セミナー事業
	(6) マッチングサイト事業
	(7) 企業誘致及び立地支援事業
	(8) 企業活動強化及び創業支援事業 (佐賀县委託)
	(9) コスメビジネススクール構想推進事業
	(10) インキュベーション構想推進事業
	(11) Karatsu Style 活動支援事業
3 地域ブランド事業	(1) 原料開発・供給促進事業
	(2) 地域コア原料開発・産地化促進事業 (唐津市委託)
	(3) Sagan beauty weekend 2018 (佐賀県主催)
	(4) JCC 設立 5 周年記念事業
	(5) 地域ブランド構築事業
	(6) 広報 PR 事業
4 専門人材配置事業	(1) 専門人材配置

1 新市場開拓事業

事業名	内 容
(1) アジア市場マッチング事業	<p>○目 的 JCC 会員のアジア市場への直接的・間接的参入を促進するため、ASEAN 及び台湾をターゲットとしてマーケティング及び販路拡大の機会を創出する。</p> <p>○概 要</p> <p>①ASEAN への製品輸出及び OEM 受注の調査営業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製品の現地バイヤーへの代理営業、OEM ニーズの調査営業 ・輸出マッチング・具現化支援 <p>②商談会等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台湾現地商談会(9月予定) ・マレーシア現地テストマーケティング(11月～1月予定) ・ASEAN バイヤー来日商談会 ほか
(2) EU 市場マッチング事業	<p>○目 的 JCC 会員の EU 市場への直接的・間接的参入を促進するため、提携クラスターと連携した展示会及び商談会等の実施、現地国の流通パイプの構築により販路拡大の機会を創出する。</p> <p>○概 要</p> <p>①展示会・商談会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際展示会：COSMETIC360@フランス(10月) ・商談会：スペイン企業来日(1月) ほか <p>②輸出支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フランス、イタリア等の現地パートナーと連携した個別輸出支援
(3) 海外企業誘致事業 (唐津市委託)	<p>○目 的 唐津市からの業務委託により、海外コスメ企業誘致のための調査、プロモーション、企業面談及び招聘等を実施し成約に結び付ける。</p> <p>○概 要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで調査された投資有望企業のフォローアップ ・新規有望企業の調査・開拓、有望企業への訪問営業 ・投資意向の強い企業を来唐招聘、投資交渉 など

2 産業創出事業

事業名	内 容
(1) 技術・産学連携促進事業	<p>○目 的 会員企業の技術ニーズに応える大学等シーズ情報の提供、国際的な産学連携の創出、産学連携による原料開発及び起業創業支援を実施する。</p> <p>○概 要</p> <p>①技術及び産学連携に関する相談対応</p> <p>②セミナー ・会員大学のシーズ発表・交流会の開催 (3月) ・技術セミナー(香料、原料など)の開催(2回予定)</p> <p>③産学連携モデル事業 ・有望素材の栽培技術の確立と事業化研究 ・商品開発、産学連携研究などを通じた起業支援</p> <p>④関係機関との連携 ・フランスとの技術分野における交流・連携の検討 ・研究機関、学会等とのネットワークの構築</p>
(2) 研究者及びシーズ情報DB作成事業	<p>○目 的 支援大学等の研究者及びシーズ情報をデータベース化することにより、会員企業等のニーズとのマッチングを促進する。</p> <p>○概 要 ・支援大学の研究者及びシーズ情報のデータベース化 会員企業向け情報提供の実施</p>
(3) 製品開発支援事業	<p>○目 的 会員企業及びスタートアップ者の製品開発に関しマーケティング視点での相談対応・支援を行う。また、試作品等に対する消費者モニターサービスについてFS調査を実施する。</p> <p>○概 要</p> <p>①マーケティング及び製品開発に関する相談対応</p> <p>②マーケティングセミナーの開催(2回予定)</p> <p>③消費者モニターサービスの構築に向けたFS調査 など</p>
(4) 販路開拓・プロモーション支援事業	<p>○目 的 今後の販路開拓支援を強化するための各種調査・企画を実施する。また、会員の商品PRに活用できるSNS等を利用したインフルエンサーサービスを企画する。</p> <p>○概 要</p> <p>①販路開拓支援 ・ECセミナーの開催(1回予定) ・国内流通、市場ニーズ調査、販路開拓支援の企画 など</p> <p>②インフルエンサーサービスの企画</p>
(5) クラスター交流会・セミナー事業	<p>○目 的 会員ニーズに沿ったセミナーを開催すると共に、会員間及び</p>

	<p>会員と地域産業の交流を図り、ビジネスマッチ、イノベーションの創出機会とする。</p> <p>○概要 会員のニーズに沿ったテーマによるセミナーの開催及び参加企業の交流会の実施。(4回予定)</p>
(6) マッチングサイト事業	<p>○目的 会員企業が、会員間、海外企業等に向けて自社の商品・サービスをPRする機会として、また商談会前の事前マッチングやバーチャル展示会などをWEB上で効率的・低負担で実施する。</p> <p>○概要 ・商談会等の事前WEBマッチングの実施 ・会員のマイページの利用活性化 など</p>
(7) 企業誘致及び立地支援事業	<p>○目的 国内企業の有力案件の発掘及び国内外の進出企業への支援を図ることにより本地域の産業集積を促進する。</p> <p>○概要 自治体及び関係機関との連携による誘致活動及び立地に際するビジネスサポート等の支援。</p>
(8) 企業活動強化及び創業支援事業 (佐賀県委託)	<p>○目的 佐賀県からの業務委託により、コスメ&ヘルスケア・ビジネスを志す者に対し、スタートアップに必要な基本知識を提供するとともに、起業創業の活動を支援する。</p> <p>○概要 ・起業創業セミナーの開催(1回予定) ・関係機関と連携した起業創業への支援 など</p>
(9) コスメビジネススクール構想推進事業	<p>○目的 国際的コスメティッククラスター形成の重要なインフラとして、産業人材の育成を図るビジネススクールを設立するために必要な準備、及び当面の人材育成事業を実施する。</p> <p>○概要 ①構想検討部会の設置による各種検討 ②「化粧品科学へのいざないセミナー」の開催(全8コマ) 専門の講師陣によるカリキュラム・プログラムの提供</p>
(10) インキュベーション構想推進事業	<p>○目的 「日本で一番コスメビジネスがしやすいまち」の実現に向けて、起業創業、新規参入、オープンイノベーション、海外企業進出の受皿及び支援機能の整備を推進する。</p> <p>○概要 ①構想検討部会の設置による各種検討 ②アクセラレーションプログラムの開発</p>
(11) Karatsu Style 活動支援事業	<p>○目的 JCC100%出資の子会社であり、地方創生のモデル地域商社である(株)Karatsu Styleの各種事業を支援することにより、コスメ</p>

	<p>ティック構想のサプライチェーン機能を強化する。</p> <p>○概要</p> <ul style="list-style-type: none">・会員企業の商品・サービスとのマッチング・国際取引活動への支援・製品開発への支援、地産素材情報の提供 など
--	---

3 地域ブランド事業

事業名	内 容
(1) 原料開発・供給促進事業	<p>○目 的 地産素材を活用した原料・製品の開発支援、地産素材を活用した原料の供給、栽培支援等を通じた産地形成を展開することにより、地産素材の原料供給を促進する。</p> <p>○概 要 ①コスメ原料開発室の運営 ②モデル地産原料の PR・営業・供給 ③素材の探索、評価試験による原料開発 ④テスト圃場の整備及び運営、指定農園の営業などを通じた産地化促進 など</p>
(2) 地域コア原料開発・産地化促進事業 (唐津市委託)	<p>○目 的 唐津市からの業務委託により、地産素材を使用した競争力のある原料の開発、素材栽培の拡大による産地化を図るもの。</p> <p>○概 要 ・ツバキをはじめとするコア原料素材の産地化支援 ・地産素材を使用した競争力のある原料の開発、商用化 ・フランスと連携した地産素材を活用した香料の開発</p>
(3) Sagan beauty weekend 2018 (佐賀県主催、JCC 共催)	<p>○目 的 佐賀県、佐賀市、唐津市及び玄海町の四者による美と健康に関する協定に基づき、コスメ&ヘルスケア産業の価値や JCC 活動などを県民や域外に広く PR するイベント。JCC は共催者として、イベント支援とスピンアウト事業の創出を図る。 催事内容は、出店ブースやトークショーなど。</p> <p>○概 要 ①唐津開催：テーマ「HANA MARCHE」 5月5日開催予定 ②佐賀開催：テーマ「未定」 10月26日開催予定</p>
(4) JCC 設立 5 周年記念事業	<p>○目 的 JCC は、2013 年 11 月 11 日に設立して以来、5 周年を迎える。これまでの軌跡とこれからの展望を内外に広く発信するための記念事業を実施する。</p> <p>○概 要 ①記念式典の開催 11 月 11 日開催予定@唐津 ②記念書籍の発売 「ソーシャル・コスメティクス～コスメが地域を活性化する」を仮コンセプトとした書籍を製作、発売 (3 月予定) する。</p>
(5) 地域ブランド構築事業	<p>○目 的 “ソーシャル・コスメティクス～コスメが地域を活性化する”を仮テーマに置いた、地域にける「コト」「ヒト」づくりを通して、「コスメのまち」イメージブランド構築を図る。</p> <p>○概 要</p>

	<ul style="list-style-type: none">・地域のキーパーソンと国内外のメンター等がコラボしながら、ソフト事業等を企画・展開して行く。
(6) 広報 PR 事業	<p>○目 的 JCC 活動、会員活動、関係機関情報をタイムリーに発信・PR する。また、JCC の紹介ツールを更新する。</p> <p>○概 要 ・メディアタイアップ、ホームページ運用、パンフレット制作、ノベルティグッズ制作、広告出稿など</p>

4 専門人材配置

事業名	内 容
(1) 専門人材配置	<p>○目 的 当会活動を効果的・効率的に進めるため、専門人材を配置するもの。</p> <p>①専門人材の配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーター等 12名 (内訳) ・新市場開拓 3名 (うち市委託分2名) ・産業創出 5名 (うち県委託分2名) ・地域ブランド 4名 (うち市委託分1名) <p>②専門人材の諸活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各事業企画・実施、企業等訪問による調査・営業活動、ビジネスコーディネート、各種相談対応等 <p>③スーパーバイザー等の配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・化粧品産業関係、国際取引関係、産学連携関係ほか

2018年度 収支予算書

(単位 千円)

収入の部					
科	目	2018年度	2017年度	増減額	摘要
会費収入		8,400	7,250	1,150	正会員191社
会費収入		8,400	7,250	1,150	
会費収入		8,400	7,250	1,150	
負担金収入		84,000	84,000	0	県：44,800
負担金収入		84,000	84,000	0	市：28,000
負担金収入		84,000	84,000	0	町：11,200
補助金等収入		53,411	79,297	△ 25,886	各委託事業収入の 説明は表外に記載
委託事業収入		53,411	79,297	△ 25,886	
国委託事業収入		5,000	10,000	△ 5,000	
県委託事業収入		22,918	22,918	0	
市委託事業収入①		10,083	24,053	△ 13,970	
市委託事業収入②		15,410	22,326	△ 6,916	
事業収入		4,800	0	4,800	
事業収入		4,800	0	4,800	
事業収入		4,800	0	4,800	
その他収入		10	10	0	
雑収入		10	10	0	
預金利息		10	10	0	
繰越金		12,404	10,443	1,961	
繰越金		12,404	10,443	1,961	
繰越金		12,404	10,443	1,961	
収入の部計		163,025	181,000	△ 17,975	

国委託事業収入：平成30年度地域中核企業創出・支援事業受託収入

県委託事業収入：平成30年度コスメ企業強化対策及びコスメ創業支援事業受託収入

市委託事業収入①：平成30年度地産原料開発事業受託収入

市委託事業収入②：平成30年度海外コスメ企業投資促進事業受託収入

支 出 の 部				
科 目	2018年度	2017年度	増減額	摘 要
事業費	133,655	164,297	△ 30,642	
新市場開拓事業	22,972	9,500	13,472	
海外クラスター組織提携事業	0	0	0	
アジア市場マッチング事業	7,000	1,500	5,500	
EU市場マッチング事業	3,000	6,000	△ 3,000	
海外企業誘致事業	12,972	0	12,972	唐津市委託事業
マッチングサイト事業	0	1,000	△ 1,000	
海外企業コラボモデル事業	0	1,000	△ 1,000	
産業創出事業	33,500	31,918	1,582	
技術・産学連携促進事業	3,500	3,000	500	
研究者及びシーズ情報DB作成事業	0	0	0	
製品開発支援事業	900	1,500	△ 600	
販路開拓・プロモーション支援事業	600	1,000	△ 400	
クラスター交流会・セミナー事業	1,000	500	500	
マッチングサイト事業	500	0	500	
企業誘致及び立地支援事業	1,500	1,000	500	
企業活動強化及び創業支援事業	21,700	22,918	△ 1,218	佐賀县委託事業
コスメビジネススクール構想推進事業	2,800	2,000	800	
インキュベーション構想推進事業	1,000	0	1,000	
Karatsu Style活動支援事業	0	0	0	
地域ブランド事業	25,988	41,553	△ 15,565	
原料開発・供給促進事業	7,000	6,500	500	
地域コア原料開発・産地化促進事業	8,488	24,053	△ 15,565	唐津市委託事業
Sagan beauty weekend 2018	3,000	2,000	1,000	佐賀県主催事業
JCC設立5周年記念事業	4,000	1,000	3,000	
地域ブランド構築事業	1,800	1,500	300	
広報PR事業	1,700	6,500	△ 4,800	
海外コスメ企業投資促進事業	0	22,326	△ 22,326	
海外コスメ企業投資促進事業	0	22,326	△ 22,326	唐津市委託事業
専門人材配置事業	51,195	59,000	△ 7,805	
専門人材配置事業	51,195	59,000	△ 7,805	
管理費	27,220	16,703	10,517	
会議費	3,038	3,000	38	
総会、理事会等開催費	3,038	3,000	38	
管理費	8,835	4,500	4,335	
事務所管理費	8,835	4,500	4,335	
事務費	15,347	9,203	6,144	
事務費	15,347	9,203	6,144	
予備費	2,150	0	2,150	
予備費	2,150	0	2,150	
予備費	2,150	0	2,150	
支 出 の 部 計	163,025	181,000	△ 17,975	

議案第 1 号

2017 年度決算の承認について

定款第 39 条第 1 項の規定により 2017 年度の決算について計算書類を作成し、監事の監査を受け、理事会の承認を得たので、同条第 2 項の規定により承認を求める。

- 1 計算書類 別紙のとおり
- 2 監査報告書 別紙のとおり

2018 年 6 月 7 日提出

一般社団法人ジャパン・コスメティックセンター
代表理事会長 アルバン・ロバート・ミュラー

貸借対照表

2018年3月31日 現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	31,510,345	62,240,889	△ 30,730,544
小口現金	1,670	28,690	△ 27,020
収益事業収入口座	1,522,609	0	1,522,609
大口口座	18,270,875	31,267,341	△ 12,996,466
代表口座	11,524,377	30,650,807	△ 19,126,430
外貨現金	190,814	294,051	△ 103,237
原材料	217,092		217,092
貯蔵品	20,730		20,730
前渡金	0	4,598,070	△ 4,598,070
前払費用	171,300	101,900	69,400
立替金	0	2,411,102	△ 2,411,102
仮払金	99,562	0	99,562
未収入金	20,416,226	15,917,542	4,498,684
流動資産合計	52,435,255	85,269,503	△ 32,834,248
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
建物付属設備	80,471	149,801	△ 69,330
機械装置	246,429	410,455	△ 164,026
工具器具備品	1,345,248	2,366,711	△ 1,021,463
一括償却資産	596,088	640,656	△ 44,568
有形固定資産合計	2,268,236	3,567,623	△ 1,299,387
(2) 無形固定資産			
システム構築費	2,511,765	2,309,850	201,915
無形固定資産合計	2,511,765	2,309,850	201,915
(3) 投資その他の資産			
投資有価証券	3,000,000		3,000,000
敷金	21,000	29,000	△ 8,000
投資その他の資産合計	3,021,000	29,000	2,992,000
固定資産合計	7,801,001	5,906,473	1,894,528

3. 繰延資産			
ウェブサイト	1,623,357	1,539,900	83,457
繰延資産合計	1,623,357	1,539,900	83,457
資産合計	61,859,613	92,715,876	△ 30,856,263
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	16,857,442	56,180,048	△ 39,322,606
前受金	5,259,600	9,039,865	△ 3,780,265
預り金	567,492	573,382	△ 5,890
未払法人税等	12,549,100	71,000	12,478,100
未払消費税	3,344,500		3,344,500
流動負債合計	38,578,134	65,864,295	△ 27,286,161
負債合計	38,578,134	65,864,295	△ 27,286,161
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産	23,281,479	26,851,581	△ 3,570,102
正味財産合計	23,281,479	26,851,581	△ 3,570,102
負債及び正味財産合計	61,859,613	92,715,876	△ 30,856,263

正味財産増減計算書

2018年3月31日 現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益	174,608,255	206,372,357	△ 31,764,102
会費収入	8,380,000	7,510,000	870,000
負担金収入	84,000,000	84,000,000	0
委託事業収入	80,539,974	114,862,357	△ 34,322,383
事業収入	964,850		964,850
その他収入	723,431		723,431
(2) 売上原価	295,772	7,376,400	△ 7,080,628
委託業務費		7,376,400	△ 7,376,400
原料仕入	321,064		321,064
原料委託費	191,800		191,800
期末棚卸高	△ 217,092		△ 217,092
経常収益計	174,312,483	198,995,957	△ 24,683,474
(2) 経常費用			
広告宣伝費	7,235,647	14,403,544	△ 7,167,897
荷造運賃	743,470	880,698	△ 137,228
給与手当	69,986,176	58,784,898	11,201,278
雑給(賃金)	165,800	126,888	38,912
法定福利費	11,142,397	8,713,416	2,428,981
厚生費	319,727	295,879	23,848
減価償却費		1,843,002	△ 1,843,002
有形固定資産償却費	1,546,203		1,546,203
一括償却資産償却費	604,656		604,656
無形固定資産償却費	481,185		481,185
繰延資産償却費	319,923		319,923
賃借料	4,829,906	9,292,496	△ 4,462,590
地代家賃	933,061		933,061
修繕費	377,010	9,747	367,263
事務用品費	209,006	323,764	△ 114,758
消耗品費	3,406,381	2,987,327	419,054
水道光熱費	148,584	260,998	△ 112,414

旅費交通費	21,079,240	27,766,005	△ 6,686,765
手数料	883,500	438,859	444,641
租税公課	3,515,079	358,222	3,156,857
渉外慶弔費	2,007,179	2,727,406	△ 720,227
保険料	495,340	379,110	116,230
通信費	888,123	887,989	134
諸会費	532,950	564,950	△ 32,000
図書印刷費	395,848	2,051,632	△ 1,655,784
支払報酬	11,761,468	16,047,219	△ 4,285,751
支払負担金	1,380,000	3,248,000	△ 1,868,000
委託料	11,648,650	40,297,289	△ 28,648,639
会議費	63,480	19,909	43,571
調査費	357,624		357,624
試験研究費	7,062,552		7,062,552
原料消耗品費	100,400		100,400
研修費	173,620		173,620
雑費	19,500	20,520	△ 1,020
経常費用計	164,813,685	192,729,767	△ 27,916,082
当期経常増減額	9,498,798	6,266,190	3,232,608
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
受取利息	675	1,090	△ 415
雑収入	756,828	6,058	750,770
経常外収益計	757,503	7,148	750,355
(2) 経常外費用			
寄附金	1,150,000		1,150,000
雑損失	127,303	264	127,039
経常外費用計	1,277,303	264	1,277,039
当期経常外増減額	△ 519,800	6,884	△ 526,684
税引前当期純利益	8,978,998	6,273,074	2,705,924
法人税住民税及び事業税	12,549,100	71,000	12,478,100
当期一般正味財産増減額	△ 3,570,102	6,202,074	△ 9,772,176
一般正味財産期首残高	26,851,581	20,649,507	6,202,074
一般正味財産期末残高	23,281,479	26,851,581	△ 3,570,102
II 正味財産期末残高	23,281,479	26,851,581	△ 3,570,102

監 査 報 告 書

2018年5月17日

一般社団法人ジャパン・コスメティックセンター

代表理事 アルバン・ロバート・ミュラー 殿

監 事 成 富 茂 子

監 事 江 口 利 幸

私たち監事は、当会の2017年4月1日から2018年3月31日までの2017年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法によって、当該年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告は、法令及び定款に従い、当会の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類の監査結果

計算書類は、当会の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上

議案第 2 号

定款の一部変更について

当会の運営を適正に行うため、会員の資格喪失を規定する定款第 11 条及び理事の定数について規定する定款第 22 条について、次のとおり変更を提案する。

1 変更の内容

- ① 定款第 11 条の会員の資格喪失の条件において、第 1 項第 1 号の会費の滞納期間を「1 年以上」と定めているが、これを「6 か月以上」に変更するもの。
- ② 定款第 22 条において、理事の定数を「3 名以上 15 名以内」と定めているが、これを「3 名以上 18 名以内」に変更するもの。

2 変更の理由

- ① 会費の納付状況の実情に合わせ、変更するもの。
- ② 会員数が増加している中で当会の適正な運営を図るため、理事の定数枠を拡充するもの。

3 新旧対照表

別紙のとおり

2018 年 6 月 7 日提出

一般社団法人ジャパン・コスメティックセンター
代表理事会長 アルバン・ロバート・ミュラー

議案第2号

一般社団法人ジャパン・コスメティックセンター定款 新旧対照表

改正案	現 行
<p>第1条～第10条 <略></p> <p>(会員の資格喪失)</p> <p>第11条 会員が次の各号のいずれかに該当する場合には、その資格を喪失する。</p> <p>(1) <u>6</u>カ月以上会費を滞納したとき。</p> <p>(2) 第7条第3項の規程に該当することが判明したとき。</p> <p>(3) 総会員が同意したとき。</p> <p>(4) 当該会員が死亡若しくは失踪宣告を受け、又は解散したとき。</p> <p>第12条～第21条 <略></p> <p>(役員の数および構成)</p> <p>第22条 当法人に、次の役員を置く。</p> <p>(1) 理事 3名以上<u>18</u>名以内</p> <p>(2) 監事 2名以内</p> <p>2 理事のうち、1名を会長、3名以内を副会長とする。</p> <p>3 前項の会長及び副会長をもって代表理事とする。</p> <p>第23条～第45条 <略></p> <p><u>附 則</u></p> <p><u>この定款は、平成 年 月 日から施行する。</u></p>	<p>第1条～第10条 <略></p> <p>(会員の資格喪失)</p> <p>第11条 会員が次の各号のいずれかに該当する場合には、その資格を喪失する。</p> <p>(1) <u>1</u>年以上会費を滞納したとき。</p> <p>(2) 第7条第3項の規程に該当することが判明したとき。</p> <p>(3) 総会員が同意したとき。</p> <p>(4) 当該会員が死亡若しくは失踪宣告を受け、又は解散したとき。</p> <p>第12条～第21条 <略></p> <p>(役員の数および構成)</p> <p>第22条 当法人に、次の役員を置く。</p> <p>(1) 理事 3名以上<u>15</u>名以内</p> <p>(2) 監事 2名以内</p> <p>2 理事のうち、1名を会長、3名以内を副会長とする。</p> <p>3 前項の会長及び副会長をもって代表理事とする。</p> <p>第23条～第45条 <略></p>

議案第3号

任期満了に伴う理事の選任について

第26条第1項の規定により現理事全員の任期が本総会終結時をもって満了となるため、つぎのとおり理事17名の選任を提案する。(本件は、議案第2号の可決を条件とする。)

1 理事候補者17名

- (1) アルバン・ロバート・ミュラー〔重任〕(Karatsu Cosmetics 株式会社 取締役)
- (2) 山崎 信二〔重任〕(株式会社ブルーム 代表取締役社長)
- (3) 川島 勝郎〔重任〕(ホシケミカルズ株式会社 代表取締役社長)
- (4) 鈴木 栄治〔重任〕(株式会社トレミー 代表取締役社長)
- (5) 馬渡 雅敏〔重任〕(松浦通運株式会社 代表取締役社長)
- (6) 岩瀬 由典〔重任〕(岩瀬コスファ株式会社 代表取締役社長)
- (7) 岡田 文裕〔重任〕(株式会社マダム 基盤研究所所長兼ライフサイエンス研究室室長)
- (8) 暮部 達夫〔新任〕(株式会社クレコス 代表取締役社長)
- (9) 副島 幸輔〔新任〕(農業生産法人グレイスファーム株式会社 代表取締役)
- (10) 都甲 康至〔重任〕(国立大学法人九州大学 学術研究・産学官連携本部アカデミックアドバイザー(教授))
- (11) 寺本 憲功〔新任〕(国立大学法人佐賀大学 理事・副学長)
- (12) 甲斐 照章〔新任〕(佐賀県 産業労働部副部長)
- (13) 阿蘇 靖則〔新任〕(唐津市 商工観光部長)
- (14) 西 立也〔重任〕(玄海町 管理兼政策統括監)
- (15) 山下 正美〔重任〕(唐津商工会議所 専務理事)
- (16) 南野 美紀〔新任〕(株式会社ベルヴィーヌ 取締役副社長)
- (17) 田中 洋子〔新任〕(YOKO・JAPAN 株式会社 代表取締役社長)

2018年6月7日提出

一般社団法人ジャパン・コスメティックセンター
代表理事会長 アルバン・ロバート・ミュラー